

第67回  
関西社会学会大会  
プログラム

第1日 2016年5月28日(土)

第2日 2016年5月29日(日)

開催校  
大阪大学

## 一般研究報告 A（自由報告）の報告者の方へ、事務局からお願い

- ・報告者は部会開始時間の 5 分前までに会場に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。
- ・1 報告あたりの報告時間は 25 分です。
- ・会場および周辺では配布資料のコピーサービスはできませんので、報告者は 50 部程度ご用意ください。
- ・報告申込の際に情報機器の使用を希望した報告者の会場には、プロジェクタ他の当該機器が備えられています。パソコンはご自身で持参してください。（ただし開催校でも部会の部屋ごとに WINDOWS 7 のノートパソコンを用意します。マイクロソフト・オフィスのバージョンは 2010 です。ご利用の場合は USB メモリなどを持参してください。）プロジェクタとパソコンを接続するケーブル（Mini D-sub15 ピン）は備わっています。Mac をご利用の場合はアダプタもお持ち下さい。
- ・機器や接続には故障や不具合が生じる場合があります。万一に備え、機器なしでも滞りなく発表できるようにご準備ください。機器を利用する方は、部会の始まる 20 分前に報告教室にお集まりいただき、その教室で機器が正常に作動するかを確認してください。
- ・大会奨励賞受賞者は、大会第 2 日（5 月 29 日）のシンポジウム終了後、シンポジウム会場（本館 51 講義室）で発表します。

## 参加費用

大会参加費：	2,000 円
懇親会費：	5,000 円（一般）、3,000 円（学生）

# 第1日 5月28日(土)

◆受付開始 13:30 (人間科学研究科本館1階)

---

## 研究報告Ⅰ 5月28日土曜日午後 14:00~16:30

---

1. 理論・学説(1) (東館106講義室) 司会: 田中紀行(京都大学)
1. 「道徳的個人主義」の構造から見るデュルケム社会学の企図 野々村元希 同志社大学
2. シンボリック・メディアの動態 高橋頭也 大阪医科大学  
—自己言及性について—
3. アーネスト・バージェスの社会化研究と社会主義理解 鎌田大資 椙山女学園大学  
—ウェーバー宗教社会学を補足する補助線として—
2. 社会調査法・社会学研究法 (本館31講義室) 司会: 大谷信介(関西学院大学)
1. 「ごみ屋敷」の秩序 梅川由紀 大阪大学  
—当事者Cさんの語りを中心に—
2. 写真を用いた質的研究法についての考察 岩谷洋史 神戸大学  
—フォト・エッセイからフォト・エスノグラフィーへ—
3. 変数間関連の比較に基づく公募モニター方式の 〇歸山亜紀 群馬県立女子大学  
インターネット調査データの評価 轟 亮 金沢大学  
小林大祐 金沢大学
3. 階級・階層・社会移動 (本館32講義室) 司会: 筒井淳也(立命館大学)
1. 現代日本における自営業の異質性 仲修平 日本学術振興会  
—JGSSデータを用いた職業と収入の関連についての分析— (東京大学)
2. 日本における自営業からの離職と離職後のキャリアの一考察 平尾一朗 大阪大学  
—自営業主の安定性はどのように変化したのか—
3. 労働市場においての経験が格差是正態度に及ぼす影響 申在烈 大阪大学
4. 貧富の世代間再生産 鹿又伸夫 慶應義塾大学  
—地位達成過程による媒介 VS. 直接的再生産—
4. 農山漁村・都市・地域社会 (本館41講義室) 司会: 藤井和佐(岡山大学)
1. 軍用地料が生み出す住民の境界と自治 牧野芳子 佛教大学  
—沖縄本島北部3町村の事例から—
2. 地方都市の日系人労働者を取りまく社会関係 小谷真千代 日本学術振興会(神戸大学)  
—岐阜県可茂地域における業務請負業調査から—
3. 大阪のホームレスの現在 渡辺拓也 大阪市立大学  
—2013年調査から—
4. 都市の里山における民俗宗教の再構成 岡尾将秀 大阪市立大学  
—生駒山地における修験道の継続—

5. 社会心理・社会意識（1）（本館 44 講義室） 司会：妻木進吾（龍谷大学）

1. ジェンダーと再分配への支持  
—何が国家間の差異を説明するのか— 池田裕 京都大学
2. 排外意識の規定要因  
—ヴィネット調査による検証の試み— 永吉希久子 東北大学
3. 若年無業者支援者の「感情労働」の様相  
—「地域若者サポートステーション」の支援者事例を通して— 小川祐喜子 東洋大学

6. ジェンダー（1）（本館 33 講義室） 司会：田間泰子（大阪府立大学）

1. 家庭と仕事の両立困難  
—男性と女性の異同に注目して— 孫シイク 北海道大学
2. 経済生活における他者への依存とジェンダー  
—暮らし向き意識の分析から— 高松里江 立命館大学
3. 不妊治療とキャリア継続 乙部由子 名古屋工業大学

◆若手企画部会（東館 207 講義室） 14：00～16：30

だれが・なんのために<調査>するのか？ コーディネーター：櫻田和也（大阪市立大学）

- |      |                                      |                       |
|------|--------------------------------------|-----------------------|
| 第1報告 | 沖縄の近代化論争史にみる方法論上の問題                  | 持木良太（大阪府立大学）          |
| 第2報告 | 釜ヶ崎と山谷：寄せ場における〈労働者調査〉                | 原口剛（神戸大学）             |
| 第3報告 | 映像には夜の暗闇を記録できるか                      | 板倉善之+佐藤零郎（Nighthawks） |
| 第4報告 | From The American Worker to Zerowork | マニユエル・ヤン（早稲田大学）       |

◆総会 16：45～17：30（本館 51 講義室）

◆懇親会 18：00～20：00（カフェテリア匠）

第2日 5月29日(日)

◆受付開始 9:00 (人間科学研究科本館1階)

研究報告Ⅱ 5月29日日曜日午前 9:30~12:00

7. 理論・学説(2) (東館106講義室) 司会: 木村至聖(甲南女子大学)
1. 「遺品」の社会的意味  
—兵庫県宝塚市の遺品整理・特殊清掃業者を事例に— 藤井亮佑 関西学院大学
  2. 文化社会学の視覚論的転回と社会的世界の視覚的構築—  
—見る者/見られる者の関係性の象徴としての画像とアイコンについて— 梅村麦生 神戸大学
  3. コメのメディア機能  
—近世初期の統治機能と貨幣代替機能— 碓井崧 金沢大学
8. 組織・社会運動・集合行動 (本館31講義室) 司会: 鶴飼孝造(同志社大学)
1. 市民参加を活性化させる地域とは  
—マルチレベル分析による地域文脈効果の検討— ○平松誠 大阪大学  
三谷はるよ 龍谷大学
  2. フレーミングとしての全共闘  
小杉亮子 東北大学
  3. 住民運動への参加志向の規定要因  
—時代による変化に注目して— 猿渡壮 同志社大学
9. 経済・経営・産業・労働 (本館32講義室) 司会: 高瀬武則(関西大学)
1. 現地採用者の就労行動  
—上海の日系企業を事例として— 松谷実のり 日本学術振興会  
(京都大学)
  2. ハイパー・メリトクラシーの現在  
—採用担当者が大学生に求める「能力」— ○山本奈生 佛教大学  
長光太志 佛教大学
  3. グローバル化時代の日本男性の働き方  
—EU諸国における元駐在員のインタビュー調査から— ○善積京子 追手門学院大学  
高橋美恵子 大阪大学  
斧出節子 京都華頂大学  
釜野さおり 国立社会保障・人口問題研究所  
松田智子 佛教大学
10. 教育 (東館207講義室) 司会: 尾嶋史章(同志社大学)
1. 義務教育初期段階における「かしこいこと」の概念分析  
久保田裕斗 京都大学
  2. 高等教育進学率の都道府県間格差の規定要因構造の変化  
園部香里 京都大学
  3. イギリスにおけるユースワーカー養成に関する一考察  
—高等教育機関の役割に注目して— 井上慧真 京都大学
  4. 教育期待の社会経済的格差の形成パターン  
—成績効果と選択効果の推定と比較— 白川俊之 日本学術振興会  
(大阪大学)

- 1 1. 社会心理・社会意識（2）（本館 44 講義室） 司会：荻野昌弘（関西学院大学）
1. 厳罰意識の構造についての研究 西岡暁廣 同志社大学
2. 日本人の政治的疎外  
—政治的有効性感覚のコーホート分析— 伊藤理史 大阪大学
3. 即興授業論序説  
—大学は、ライブでなければ生き残れない— 前田益尚 近畿大学
- 1 2. ジェンダー（2）（本館 33 講義室） 司会：河原和枝（甲南女子大学）
1. 女性たちの「選択」  
—主婦雑誌『VERY』の分析から— 黒田麻耶 京都大学
2. ユニセックス・ファッションの構築  
—異性装をめぐる視線— 西田 瞳 京都大学
3. 戦前期『婦人公論』における職業婦人イメージの形成と変容 濱 貴子 富山県立大学
4. 『児科雑誌』にみる小児科医の母乳への関心と「母乳が最善」  
という知識の誕生 村田泰子 関西学院大学
- 1 3. 社会福祉・医療（本館 41 講義室） 司会：本郷正武（和歌山県立医科大学）
1. 生殖補助医療と「血縁」  
—「余剰」胚提供の是非に関する意見の対立から— 三品拓人 大阪大学
2. 障害者の集団参加と秩序調整  
—オーケストラの合奏練習を事例として— 正井佐知 大阪大学
3. 家族は無職者を救えるか  
—職業・世帯類型別自殺率の分析から— 平野孝典 京都女子大学

◆シンポジウム（本館 51 講義室） 13:30～16:30

戦争と軍事文化の社会学

コーディネーター：吉田純（京都大学）

- 司会 伊藤 公雄（京都大学）  
油井 清光（神戸大学）
- 報告者 福間 良明（立命館大学）  
福浦 厚子（滋賀大学）  
吉田 純（京都大学）
- 討論者 高橋 三郎（京都大学名誉教授）  
石原 俊（明治学院大学）

◆大会特別活動企画

(東館 207 講義室)

13:30~16:30

社会学とクィア・スタディーズの接点

—エイズ・アクティビズムを通して考える—

コーディネーター：赤枝香奈子（筑紫女学園大学）

## 報告

菅野優香（同志社大学）

AIDS を表象する—メディア・アクティビズムと連帯の政治—

新ヶ江章友（大阪市立大学）

日本におけるゲイ男性の主体化の系譜—エイズから同性婚へ—

大北全俊（東北大学）

「セックス」と倫理—HIV 感染症の予防技術の変遷から—

青山薫（神戸大学）

愛よりコンドーム—HIV 予防と売買春の取り締まり・世界の動向—

## 大阪大学吹田キャンパス・アクセスマップ



- ◆ モノレール  
大阪モノレール彩都線  
阪大病院前駅下車 徒歩約 10 分
- ◆ 電車  
阪急電鉄千里線  
北千里駅下車 徒歩約 30 分
- ◆ バス
  - ・ 阪急バス 北大阪急行千里中央駅より  
「阪大本部前」(164 系統、171 系統) 行き 約 15 分  
「茨木美穂ヶ丘」(103 系統、105 系統) 行き 約 15 分
  - ・ 近鉄バス  
阪急電鉄京都線茨木市駅より  
「阪大本部前」(24 系統) 行き 約 30 分  
JR 東海道本線茨木駅より  
「阪大本部前」(24 系統) 行き 約 20 分

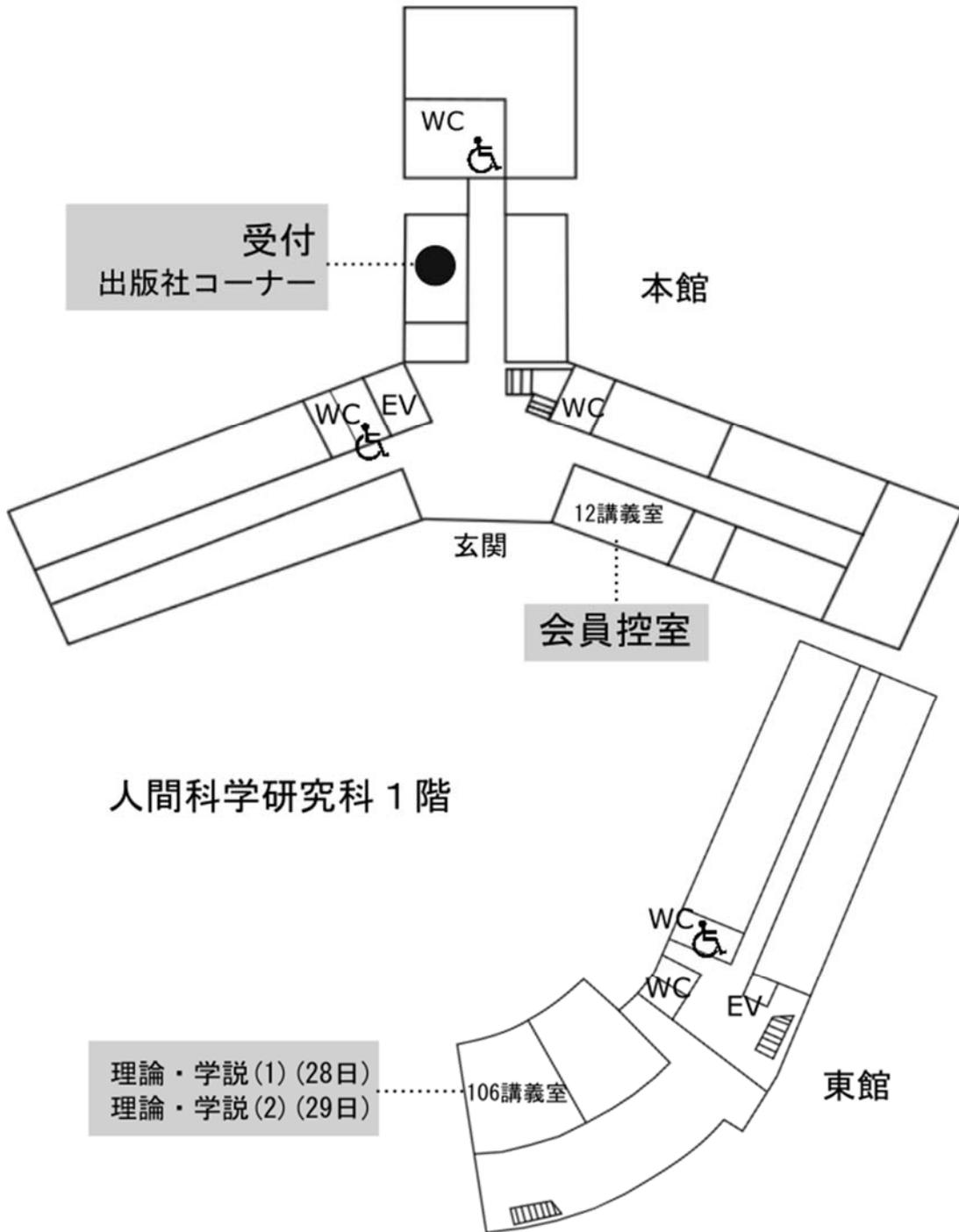


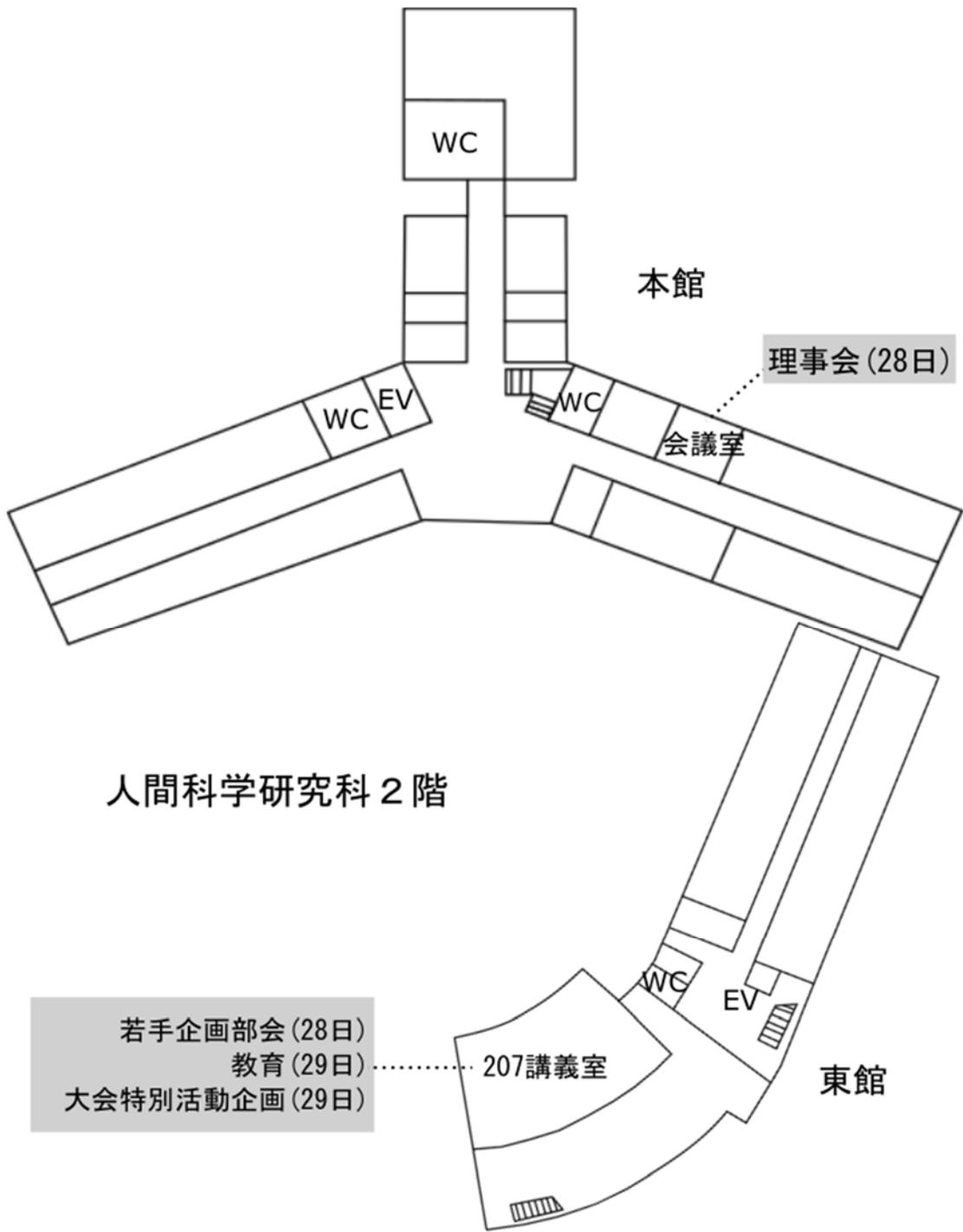
※大会会場周辺には昼食を取る場所が少ないため、各自ご持参ください。

### [大会期間中の託児室のご案内]

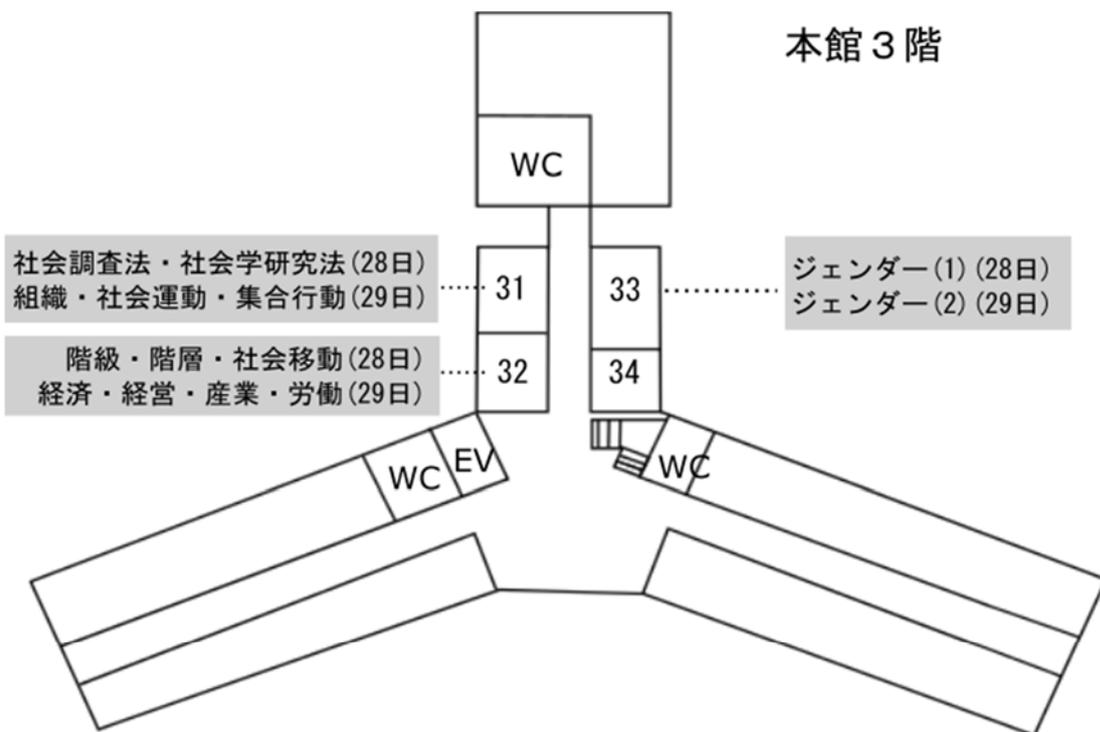
本大会では大会期間中、大阪大学内に託児室（有料）を設置します。利用は事前に申込みをされた方に限らせて頂きます。利用をご希望の方は、関西社会学会ホームページをご覧になり、利用要領をご了解のうえ、5月9日（月）17:00 までに大会実行委員会へお申し込みください。

# 会場建物内のご案内

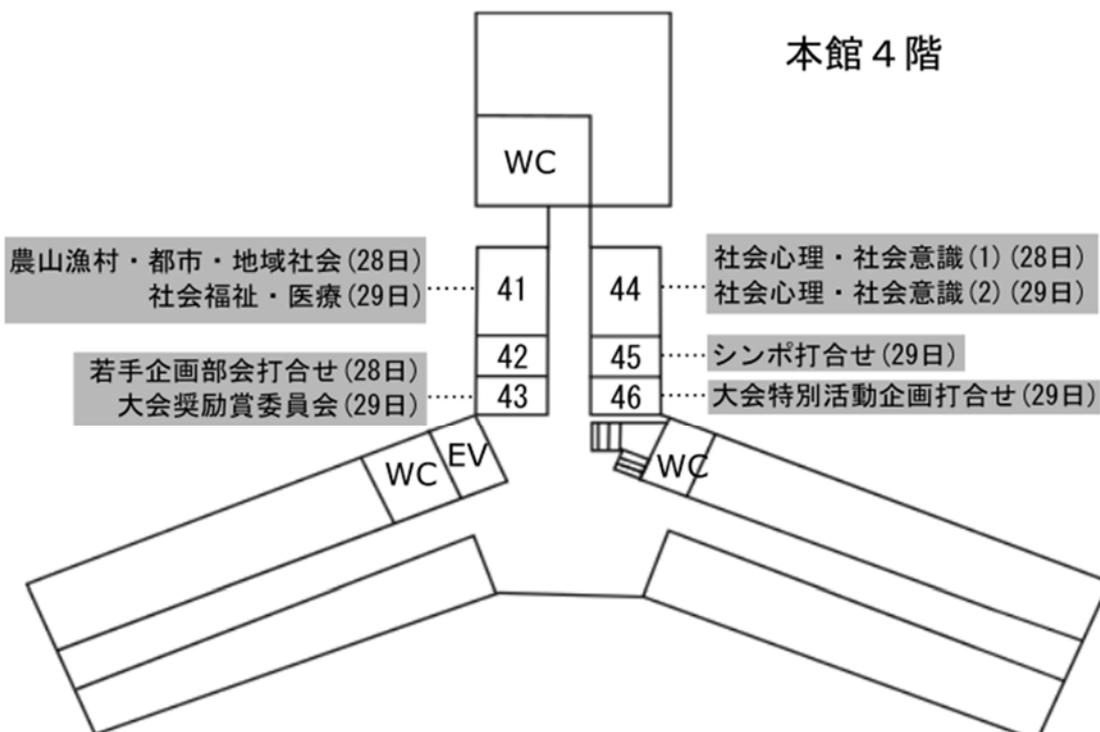


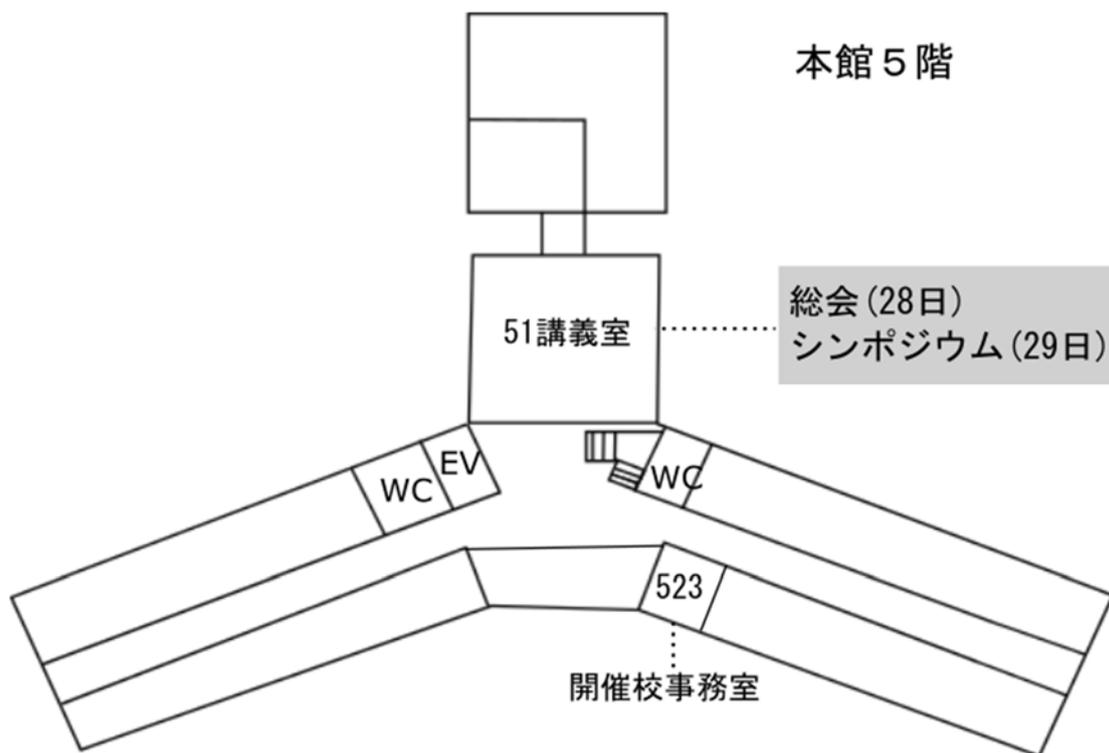


### 本館 3階



### 本館 4階





- 東館には本館玄関を出て外側からお入りください。
- 会員控室(12講義室)には、飲み物やお菓子などをご用意いたします。
- キャンパス内は全面禁煙です。